

MINI DISCLOSURE 2016.3

# 第166期 営業のご報告

---

ミニディスクロージャー誌

平成27年4月1日 - 平成28年3月31日

# ごあいさつ／目次



取締役頭取  
青山泰之

## 会社概要 (平成28年3月31日現在)

創業年月日	……	大正4年5月20日
本店所在地	……	島根県松江市東本町 二丁目35番地
URL	……	<a href="http://www.shimagin.co.jp">http://www.shimagin.co.jp</a>
資本金	……	66億36百万円
店舗数	……	34店(島根県25店、鳥取県9店)
従業員数	……	411名
預金残高	……	3,682億円
貸出金残高	……	2,666億円

### 目次

ごあいさつ／目次	……	1
島根銀行について	……	2
中期経営計画	……	3
業績ハイライト	……	4
CSRへの取組み	……	7
連結財務諸表	……	12
単体財務諸表	……	13
株主の皆さまへ	……	14

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたびは定時株主総会後の取締役会におきまして、代表取締役頭取に選任され、就任いたしました。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当行は、昨年おかげさまで創業100周年を迎えることができました。これもひとえに、株主の皆さま、お客さま、地域の皆さまなどステークホルダーの皆さまの温かいご支援の賜物と心から深く感謝申し上げます。

今年度におきましては、現在建設中であります新本店の竣工を予定しており、“しまぎん”は新たなステージを迎えます。当地山陰では、景気は緩やかながらも回復が続いておりますが、人口の減少や少子高齢化の進行などにより経済規模は縮小傾向にあり、当行を取り巻く環境もより厳しさを増すことが予想されます。このような環境の中、当行はこれまで長年培ってきた地域密着の金融サービスを更に深化させ、地方創生の実現に向けた地域の活性化に貢献すべく、新中期経営計画「次の100年に向かって～自主独往路線を堅持しての地方創生への貢献～」(計画期間：平成28年4月～平成31年3月)をスタートさせました。本計画では、創業の原点(逼迫した庶民金融への貢献、産業の振興)を再確認のうえ、経営理念の下、「人材の強化」「組織の強化」「営業の強化」「財務の強化」の4本柱の取組みにより、経営ビジョンの実現を目指してまいります。

この他、社会貢献活動についても積極的に推進してまいりますとともに、これからも地域に根ざした銀行として、当地域の経済を支えていくという重要な使命を全うするため、役職員が一丸となって邁進する所存でございますので、引き続きご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

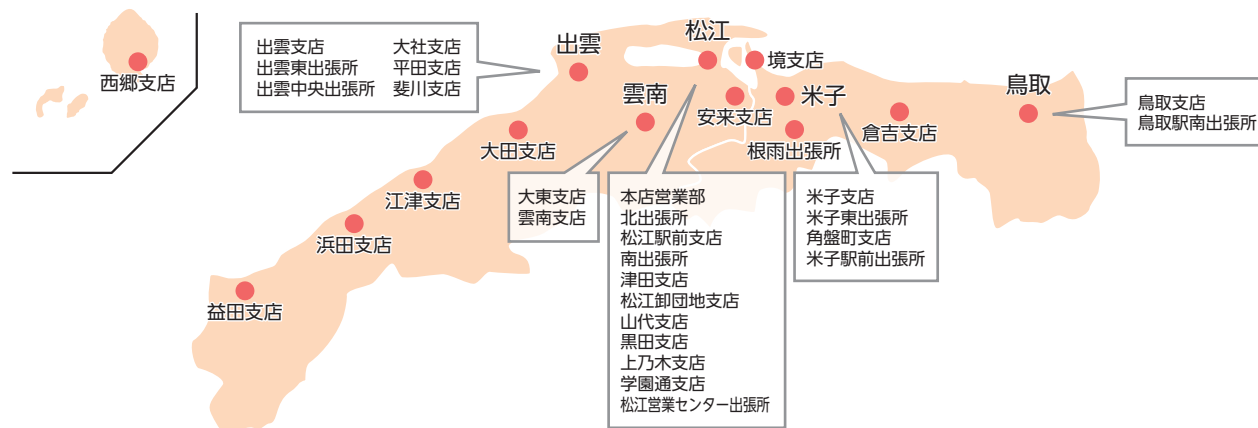
今回、経営情報を、より分かりやすく皆さまにお伝えするために、ミニデジタルスクロージャー誌を作成いたしましたのでご案内いたします。

ぜひご一読いただき、当行へのご理解を深めていただければ幸いです。

平成28年6月

# 島根銀行について

## 店舗網 (平成28年3月31日現在)



## 役員一覧 (平成28年6月28日現在)

取締役頭取 (代表取締役)	青 山 泰 之
取締役相談役	田 頭 基 典
常務取締役	若 槻 明 彦
常務取締役	飯 塚 貴 久
常務取締役	朝 山 克 也
取 締 役	金 築 宏
取 締 役	松 井 和 城
取 締 役	吉 川 隆 博
取 締 役	竹 原 信 彦
取 締 役 (社外)	上 野 豊 明
取 締 役 (社外)	多々納 道 子
常勤監査役	濱 田 寛
監 査 役 (社外)	周 藤 滋
監 査 役 (社外)	石 原 明 男
監 査 役 (社外)	岡 崎 勝 彦

## 関係会社 (平成28年3月31日現在)

### ○ 松江リース(株)

当行の子会社であり、リース業務を行っております。

住所 …………… 島根県松江市西津田一丁目5番18号

設立年月日 …… 昭和56年4月25日

### ○ しまぎんユーシーカード(株)

当行の関連会社であり、クレジットカード業務を行っております。

住所 …………… 島根県松江市朝日町485番地8

設立年月日 …… 平成9年10月22日

# 中期経営計画

## 中期経営計画「次の100年に向かって」【計画期間:平成28年4月～平成31年3月】 ～自主独往路線を堅持しての地方創生への貢献～

新中期経営計画は、創業の原点（逼迫した庶民金融への貢献、産業の振興）を再確認のうえ、経営理念の下、次の100年に向かって、継続しての「人材の強化」「組織の強化」「営業の強化」「財務の強化」の4本柱の取組みにより、経営ビジョンの実現を目指します。

### 人材の強化

- 1 実践力ある人材の育成
- 2 コミュニケーション能力の向上
- 3 女性・若手行員の活躍促進
- 4 コンプライアンス意識の醸成

### 組織の強化

- 1 内部管理態勢の充実
- 2 社会的弱者・金融犯罪に対する適切な対応
- 3 危機管理態勢の充実
- 4 企業イメージの向上

### 営業の強化

- 1 経営資源の集中投下による経営体制の強化
- 2 事業取引の対応強化
- 3 個人取引の対応強化
- 4 役員取引の対応強化

### 財務の強化

- 1 自己資本の充実
- 2 信用コストの抑制
- 3 有価証券の適切なポートフォリオの構築
- 4 統合的リスク管理の高度化

### 経営理念

1. 地域社会の発展に貢献し、信頼され、愛される銀行となる。
2. 常に魅力あるサービスを提供し、お客さまのニーズに積極的に応える。
3. 創造力豊かで、活力にみちた、明るい人間集団をつくる。

### 経営ビジョン

フェイス・トゥ・フェイスの精神の下、地域密着型金融を強化し、自主独往路線を堅持しつつ、質の高い金融仲介機能の発揮とそれを支えるための健全性の維持向上により、持続的成長と中長期的な企業価値の向上に努め、地方創生に貢献できる銀行

### 中計計数目標

経常収益 77億円

経常費用 68億円

経常利益 9億円

純利益 7億円

自己資本比率 8%台

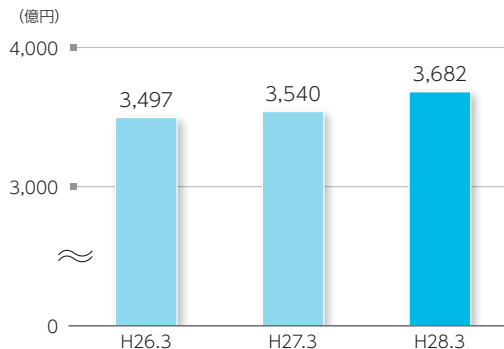
不良債権比率 3%台

# 業績ハイライト

当行の平成27年度の実績につきましては、様々な施策の実践に努めてまいりました結果、次のようになりました。

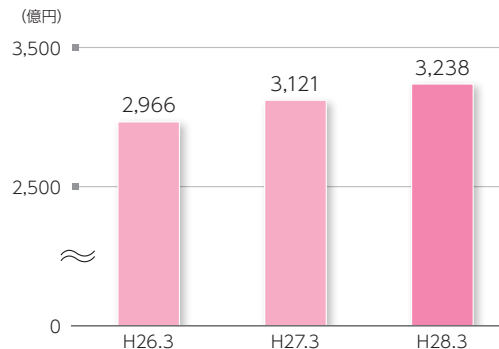
## 資産の状況

### 預金



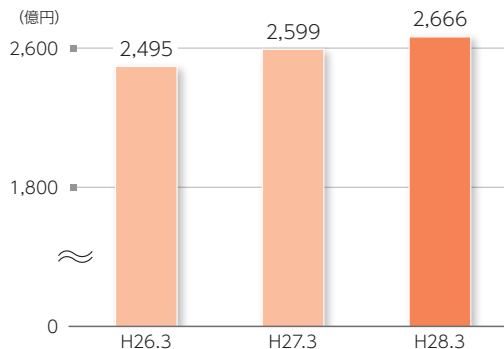
法人預金、個人預金ともに増加したことから、全体では期中142億円増加し3,682億円となりました。

### 個人預り資産



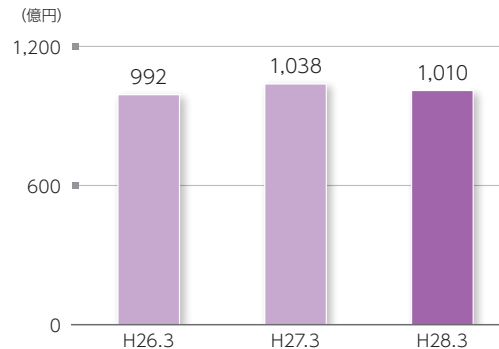
年金保険等や個人預金が増加したことから、全体では期中117億円増加し3,238億円となりました。

### 貸出金



法人向け貸出金や、地公体向け貸出金が増加したことなどから、全体では期中66億円増加し2,666億円となりました。

### 有価証券

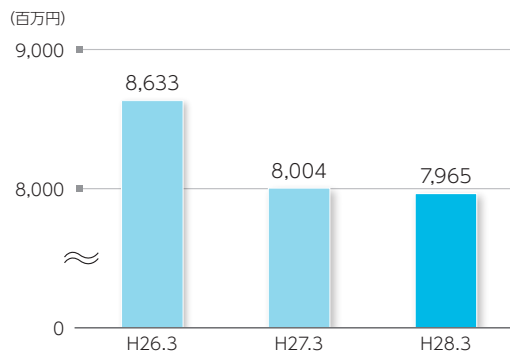


受益証券が増加した一方で債券が減少したことから、全体で期中28億円減少し1,010億円となりました。

## 業績ハイライト

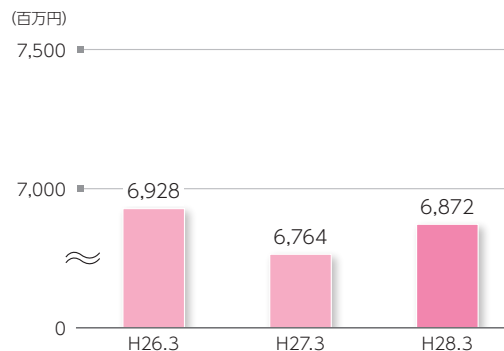
## 損益の状況

## 経常収益



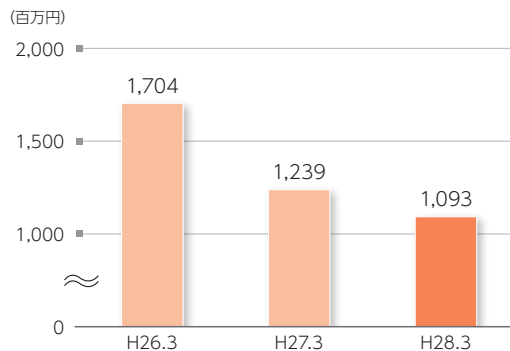
有価証券関係収益が増加しましたが、貸出金利回りの低下を主因として貸出金利息が減少したことなどにより、前期比38百万円減少し7,965百万円となりました。

## 経常費用



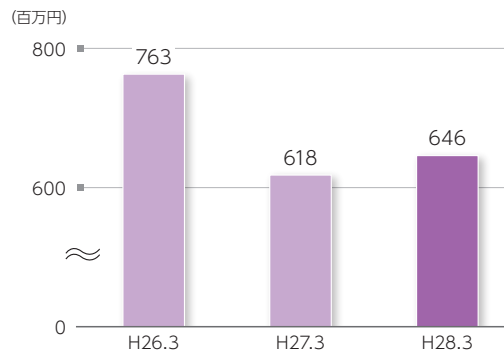
営業経費が減少しましたが、与信関連費用が増加したことなどから、前期比107百万円増加し6,872百万円となりました。

## 経常利益



経常利益は、前期比146百万円減少し1,093百万円となりました。

## 当期純利益

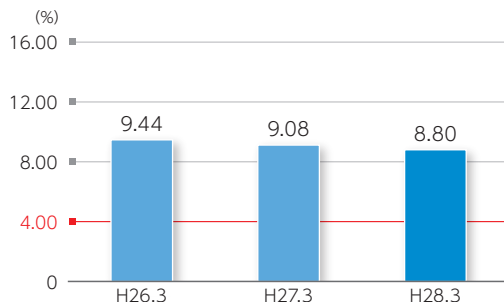


当期純利益は、前期比28百万円増益の646百万円となりました。

## 健全経営の状況

### 自己資本比率

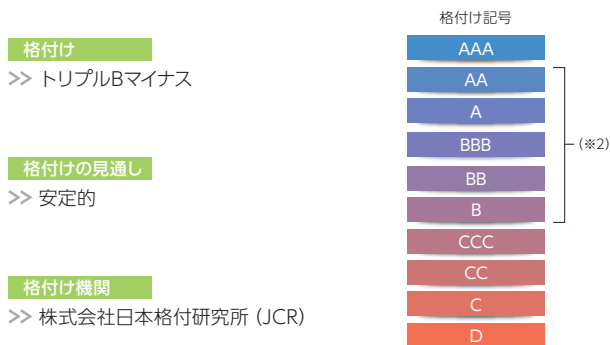
自己資本比率は、銀行が保有する貸出金や有価証券等の資産に対し、資本金や引当金等の内部資金をどの程度保有しているかを見る指標であり、銀行の健全性を示す重要な指標です。



### 長期発行体格付 (※1)

当行では、経営の透明性の確保に向けた積極的なディスクロージャーの一環として、客観的な第三者機関からの評価を提供するため、株式会社日本格付研究所 (JCR) の長期発行体格付を取得しております。

平成28年3月末現在の格付けは「トリプルBマイナス」です。



(※1) 長期発行体格付とは、債務者 (発行体) の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を比較できるように等級をもって示すものです。

(※2) AAからBまでの格付け記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして、プラス (+) もしくはマイナス (-) の符号による区分があります。

### 不良債権の状況

金融再生法開示債権額の総額は、12,063百万円、不良債権の割合は4.47%となっております。

#### 金融再生法開示債権額

(百万円)

区分	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,729	2,094	1,906
危険債権	9,583	9,315	8,844
要管理債権	1,060	1,551	1,312
計 (A)	14,372	12,961	12,063
正常債権	238,218	249,721	257,269
合計 (B)	252,591	262,682	269,333
不良債権の割合 (A/B)	5.69%	4.93%	4.47%

### 株価の状況

当行の株式は、東京証券取引所市場第一部銘柄に指定されております。

(円)

	平成25年4月~平成26年3月	平成26年4月~平成27年3月	平成27年4月~平成28年3月
終値	1,321	1,513	1,174
最高	1,380	1,646	1,648
最低	1,190	1,276	1,141

(注) 終値及び最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものです。

### 株価 (終値) の推移



# CSRへの取組み

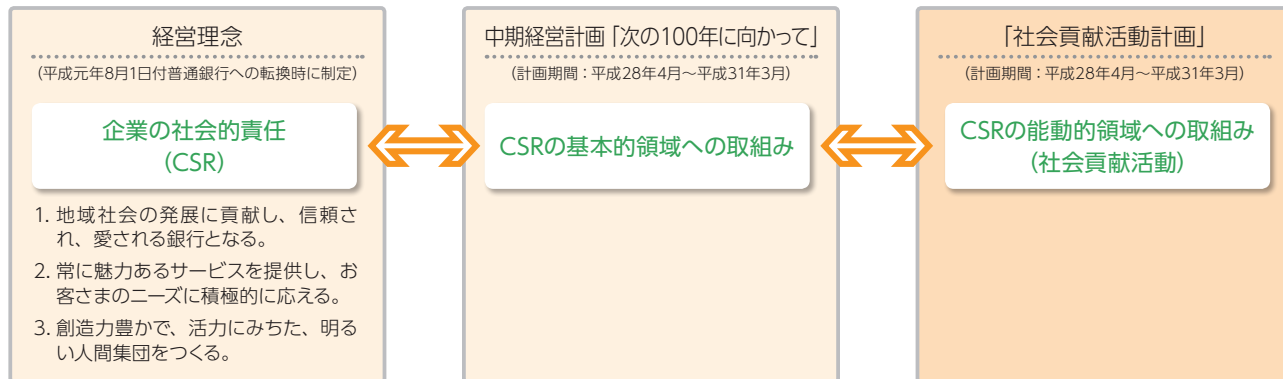
## 企業の社会的責任 (CSR) に対する当行の考え方

当行は、従来から企業の社会的責任（以下、「CSR」という。）の重要性を強く認識し、CSRへの取組みを「経営理念」の一つとして掲げた上で、この具体的な取組みを経営計画などで明確化し、実効性を確保しております。

その具体的な取組みにおいては、CSRの基本的領域ともいふべき、経済的責任、遵法責任、倫理的責任を果たすべく、収益性・健全性の向上や内部管理態勢の強化などに向けた取組みを着実に実施するとともに、株主の皆さま、お客さま、地域の皆さま、従業員などのステークホルダーの皆さまからの様々なご期待にお応えできるよう、地域貢献や地域環境の保全など、能動的領域の取組みともいふべき、社会貢献活動についても従来から積極的に推進しております。

また、取組みにあたっては、ステークホルダーの皆さまとの繋がりが何よりも重要であると考え、法令等で開示が求められている事項はもちろんのこと、「しまぎん経営情報説明会」（山陰各地区で年1回開催）やディスクロージャー誌などを通じて、社会貢献活動に関する情報を積極的に開示しております。

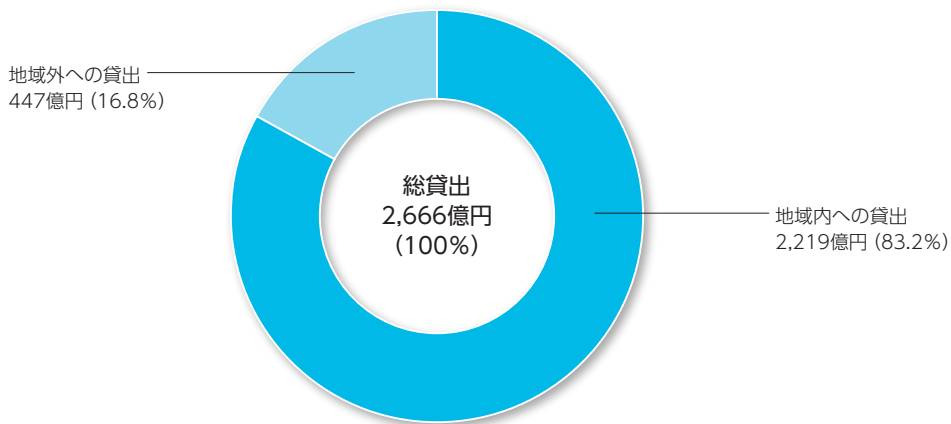
平成28年4月～平成31年3月においては、4月より新たにスタートした、中期経営計画「次の100年に向かって」（計画期間：平成28年4月～平成31年3月<3年間>）に加え、当行役職員の社会貢献活動に対する意識の更なる醸成に向けて策定した、「社会貢献活動計画（計画期間：平成28年4月～平成31年3月<3年間>）」に基づき様々な取組みを実施することにより、企業価値の向上を図り、経営理念の具現化並びにCSRの全うを目指してまいります。





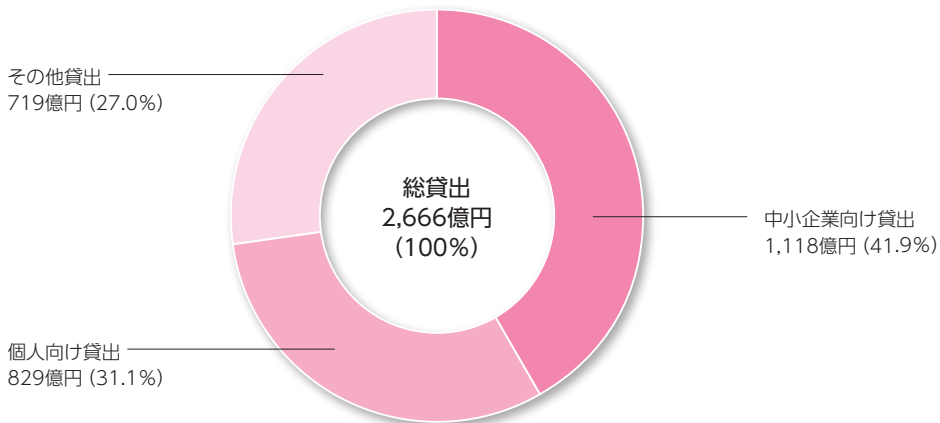
## 地域内における貸出状況 (平成28年3月31日)

地域のお客さまからお預かりした大切なご預金のほとんどを地域内の貸出に向けており、その残高は貸出金全体の83.2%を占めております。



## 中小企業や個人のお客さまへの貸出状況 (平成28年3月31日)

地域の中小企業や個人のお客さまへの貸出を積極的に行っており、その合計残高は貸出金全体の73.0% (うち、中小企業向け貸出41.9%、個人向け貸出31.1%) を占めております。(中小企業向け貸出は、地方公社を含む)



# CSRへの取組み

## 社会貢献活動計画

当行役職員の社会貢献活動に対する意識の更なる醸成に向けて策定した「社会貢献活動計画」に基づき、その実践に努めてまいります。

### ■ 社会貢献活動の枠組み

当行における社会貢献活動の枠組みは、以下のとおりでございます。



当行は、社会貢献活動の一環として、次のような取組みを行っております。

## 地域振興への取組み

地域振興に資する事業の支援、各種セミナーの開催等に取組んでいます。

### ■ 「しまぎん資産運用セミナー」の開催

地域の皆さまにリスク性商品に対する適切な知識を持っていただくことで、皆さまの資産形成を支援するため、平成18年度から、「しまぎん資産運用セミナー」を開催しております。平成27年度においては、「相続セミナー」「外貨建運用セミナー」「投信セミナー」を開催いたしました。

【平成27年度の開催実績】

開催回数	参加者数
19回	222名

## 地域貢献への取組み

地域社会全体の活性化に貢献する活動への支援や参加等に取組んでいます。

### ■ 児童活動の支援「しまぎんわんぱく応援団」の設置

地域社会の子供たちがふるさとに愛着と誇りを持ち、山陰の次世代を担う人材に育ててもらいたいとの願いの下、平成7年度に児童活動支援制度「しまぎんわんぱく応援団」を設け、地域とともに積極的な活動を行っている団体に対して、毎年助成を行っております。

これまで、山陰両県の応募総数486団体の中から252団体に対して、1団体あたり10万円、総額2,520万円を助成させていただきました。平成27年度においては、山陰両県から25団体の応募が寄せられ、教育的効果や社会貢献度などを総合的に判断させていただいた上で、12団体に対して助成金を贈呈させていただきました。



## お客さま利便性向上への取組み

店舗環境整備、ATMやインターネットバンキングの機能強化等に取組んでいます。

### ■ 当行ATM網の土日祝日利用時間延長（平成28年1月から）

当行ATM及び提携ATMの土日祝日利用時間について、これまでの8：45～19：00から8：00～21：00へ延長いたしました。

【当行ATM及び提携ATMのお引き出し手数料】

		8:00	8:45	18:00	19:00	21:00	23:00
平日	通常のキャッシュカード	108円	無料			108円	
	しまぎんピスカ/しまぎんインターネット普通預金のキャッシュカード	無料					
土日祝日	通常のキャッシュカード	時間延長	108円			時間延長	取扱いなし
	しまぎんピスカ/しまぎんインターネット普通預金のキャッシュカード	時間延長	無料*			時間延長	取扱いなし

※ご利用可能時間は、個々のATMによって異なりますので、ご注意ください。

消費税等含む

※一部ATMでは、ご利用時点では有料となりますが、毎月のご利用手数料を翌5日（休日の場合は、翌営業日）に、ご利用口座へ入金でキャッシュバック（実質無料）させていただきます。

【提携 ATM 設置の主な銀行・店舗】



# CSRへの取組み

## 社会問題への取組み

金融犯罪に対する被害の未然防止、この被害に対する補償等に取組んでいます。

### ■ インターネットバンキングの被害補償制度

全国的にインターネットバンキングの不正送金被害が拡大している状況を踏まえ、お客さまに安心してインターネットバンキングをご利用いただくため、インターネットバンキングをご利用のお客さまが不正送金被害に遭われた場合、法人のお客さまは1契約先あたり年間1,000万円、個人のお客さまは全額補償する被害補償制度を創設しております。

また、セキュリティについては、ワンタイムパスワードを導入し、より安全で安心できるインターネットバンキング環境をご提供しております。

### ■ 個人向けインターネットバンキングの口座開設時におけるチェック体制の強化

個人向けインターネットバンキングにつきましては、全国的に不正利用目的での口座開設が増加する中、平成27年10月に、インターネット普通預金の口座開設時における取引時確認のチェック体制を強化し、金融犯罪を未然に防ぐ取組みを行っております。

依然、全国的に被害状況は拡大しており、当行といたしましては、引き続きセキュリティ面を強化する方針としております。

## 環境問題への取組み

省エネ・省資源活動の参加等に取組んでいます。

### ■ 省エネ・省資源活動への取組み

地球温暖化対策を推進する気候変動キャンペーン「Fun to Share」（みんなでシェアして、低炭素社会へ。）の趣旨に賛同し、日常的に「クールビズ」「ウォームビズ」等の省資源につながる取組みを行っております。

また、当行では、設備を更新する際には、省エネ対応の最新機器の導入を検討し、環境配慮型機器へ移行をしております。更に環境問題に対する外部の活動への支援や参加を行っております。その他にも、環境省の呼びかけによる、 unnecessary 照明の消灯、早期退行などによる「CO<sub>2</sub>削減/ライトダウンキャンペーン」への取組みや、松江市が主催する公共交通機関での通勤を促進する「ノーマイカーウィーク」への参加に併せ「全店一斉ノーマイカーウィーク」を実施しております。



## 職場環境整備への取組み

従業員の働きがいが、サービス・お客さま満足度の向上につながるの考えの下、職場環境整備に取組んでいます。

### ■ 人材育成及び職場環境の充実

女性の活躍推進にかかる意識・取組みを更に加速させていくための行動計画として、「女性活躍アクションプラン～しまぎんの取組み～」を策定し、女性行員のキャリア意識の向上や女性のキャリア形成支援等に積極的に取組むとともに、定時退行推進宣言の啓蒙・実践、育児短時間勤務制度や男性の育児休業の取得促進等の啓蒙に関する取組みなどの仕事と家庭の両立支援の推進により明るく働き甲斐のある職場作りを目指しております。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (平成28年3月31日現在)
<b>資産の部</b>	
現金預け金	37,555
買入金銭債権	2,599
有価証券	100,561
貸出金	264,980
外国為替	0
リース債権及びリース投資資産	4,061
その他資産	2,019
有形固定資産	8,928
無形固定資産	279
退職給付に係る資産	83
繰延税金資産	59
支払承諾見返	8,816
貸倒引当金	△ 3,678
資産の部合計	426,267
<b>負債の部</b>	
預金	368,089
借入金	23,583
社債	1,540
その他負債	1,381
役員退職慰労引当金	223
睡眠預金払戻損失引当金	19
偶発損失引当金	87
本店建替損失引当金	435
繰延税金負債	1,141
再評価に係る繰延税金負債	570
支払承諾	8,816
負債の部合計	405,889
<b>純資産の部</b>	
資本金	6,636
資本剰余金	472
利益剰余金	7,374
自己株式	△ 43
株主資本合計	14,440
その他有価証券評価差額金	4,717
土地再評価差額金	1,187
退職給付に係る調整累計額	14
その他の包括利益累計額合計	5,918
非支配株主持分	19
純資産の部合計	20,378
負債及び純資産の部合計	426,267

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)
経常収益	9,791
経常費用	8,616
経常利益	1,175
特別損失	138
税金等調整前当期純利益	1,036
法人税、住民税及び事業税	349
法人税等還付税額	△ 79
法人税等調整額	71
法人税等合計	341
当期純利益	694
非支配株主に帰属する当期純利益	0
親会社株主に帰属する当期純利益	694

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 単体財務諸表

## 第166期末 貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当事業年度 (平成28年3月31日現在)
<b>資産の部</b>	
現金預け金	37,295
買入金銭債権	2,599
有価証券	101,011
貸出金	266,629
外国為替	0
その他資産	996
有形固定資産	8,851
無形固定資産	266
前払年金費用	63
支払承諾見返	8,816
貸倒引当金	△ 3,481
資産の部合計	423,048
<b>負債の部</b>	
預金	368,288
借入金	21,216
社債	1,500
その他負債	1,216
役員退職慰労引当金	223
睡眠預金払戻損失引当金	19
偶発損失引当金	87
本店建替損失引当金	435
繰延税金負債	1,134
再評価に係る繰延税金負債	570
支払承諾	8,816
負債の部合計	403,508
<b>純資産の部</b>	
資本金	6,636
資本剰余金	472
利益剰余金	6,569
自己株式	△ 43
株主資本合計	13,635
その他有価証券評価差額金	4,717
土地再評価差額金	1,187
評価・換算差額等合計	5,904
純資産の部合計	19,540
負債及び純資産の部合計	423,048

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 第166期 損益計算書

(単位：百万円)

科目	当事業年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)
経常収益	7,965
経常費用	6,872
経常利益	1,093
特別損失	138
税引前当期純利益	954
法人税、住民税及び事業税	324
法人税等還付税額	△ 79
法人税等調整額	62
法人税等合計	308
当期純利益	646

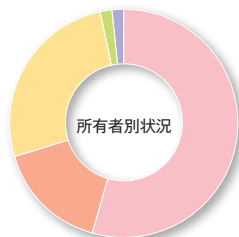
※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 株主の皆さまへ

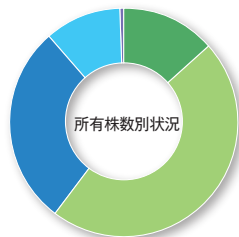
## 株式の状況 (平成28年3月31日現在)

発行可能株式総数	18,600千株
発行済株式の総数	5,576千株
株主数	4,834名
議決権を有する株主数	4,122名

## 株式分布の状況 (平成28年3月31日現在)



個人・その他	54.5%
金融機関	16.0%
国内法人	26.2%
外国法人	1.9%
証券会社	1.4%



1単元未満	0.4%
1単元以上10単元未満	13.6%
10単元以上100単元未満	46.9%
100単元以上1,000単元未満	28.3%
1,000単元以上	10.8%

## 株主メモ

決算日	3月31日
定時株主総会	6月中
配当金受領株主確定日	期末配当金:3月31日 中間配当金:9月30日
株式事務取扱場所	
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
同事務取扱場所	〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
郵便物送付先 お問合せ先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 ☎ 0120-707-843

公告掲載方法 電子公告による公告とし、当行ホームページ (<http://www.shimagin.co.jp>) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

## IRカレンダー(予定)

7月	… ディスクロージャー誌発行・経営情報説明会
8月	… 第1四半期決算短信開示・第1四半期報告書提出
11月	… 中間決算発表・第2四半期報告書提出
12月	… 中間期ミニディスクロージャー誌発行

# SHIMANE 島根銀行

平成28年6月発行  
株式会社島根銀行  
島根県松江市東本町二丁目35番地  
URL : <http://www.shimagin.co.jp>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



この報告書は環境に配慮した植物油インキを  
使用しています。